

## 参考資料2 数値指標について

### 1 数値指標の設定方針

本計画では、以下の点に配慮して基本目標ごとに数値指標を設定します。

#### 【数値指標設定の視点】

- ① 計画の進捗を評価するには、市の取組成果と市民・事業者の取組成果の双方を把握することが必要であることから、各基本目標に対して、「市の取組成果(事業の成果)を把握する指標」と「市民・事業者の取組成果を把握する指標」の2種を設ける。
- ② 関連する計画との整合を図るため、関連計画に本計画の施策に該当する数値指標が設定されている場合は、その指標・目標値の選択に努める。
- ③ 指標の設定が困難な基本目標については、数値指標を設定せず、市の事業成果などから計画の進捗を把握する。

#### 【数値指標の構成】

指標	設定の考え方
数値指標1	「市の取組成果(事業の成果)を把握する指標」として、以下から2つを設定 ▼市で実施する事業のうち、基本目標に関連するもの ▼関連する計画のなかで、基本目標に関連するもの
数値指標2	
数値指標3	「市民・事業者の取組成果を把握する指標」として、以下から1つを設定 ▼実施したアンケート項目のうち、基本目標に関連するもの(※見直し・改定時に把握) ▼関連する計画のなかで、基本目標に関連するもの

※現状にそぐわないまたは数値として把握できる項目がないなど、指標の設定が困難な場合は、数値指標を設けないこととする。

## 2 数値指標案

### (1)人づくり

指標		担当課	把握方法	基準値	目標値	備考
				令和元年度	令和12年度	
市	環境教育・活動件数	環境課		1件	4件	旧町別に小中学校ごと1回の実施(4町分)
	SDGsに関する情報の発信回数	環境課	広報誌やLINEによるSDGsに関する情報の発信回数	0回	3回	SDGsと関連させた環境情報※の発信回数も含む ※環境関連の情報に貢献するSDGsのアイコンを併せて示す形で発信することを想定
市民・事業者	SDGsの認知度	環境課	アンケート調査項目「環境に関する用語の認知度(SDGs)」において、「知っている」「言葉だけ知っている」と回答した市民の割合	21.8%	50.0%以上	市民の半数以上がSDGsの概念を知っているまたは言葉だけ知っていることを目指す。

### (2)生活環境

指標		担当課	把握方法	基準値	目標値	備考
				令和元年度	令和12年度	
市・市民・事業者	不法投棄の発生件数	環境課	市が一年間に報告を受けた不法投棄の発生件数	153件	76件	不法投棄防止対策の実施により半減を目標とする。

### (3)地域環境資源

指標	担当課	把握方法	基準値	目標値	備考	
			令和元年度	令和12年度		
市	間伐面積	農山村振興課	年間の間伐面積	381ha (H30)	600ha (R6)	現行計画から継続。 目標値は「第2南丹市地域創生戦略」の指標「間伐実績」(p6)と整合。 目標値は本計画の中間見直しに合わせて再度見直すこととする。
	動植物に関するイベント実施回数	環境課	動植物の観察や保全、意識啓発につながるイベントの開催回数 ※府などと連携したものも含む	3回	6回	国定公園イベントとの連携など、実施回数の増加に努める。
市民・事業者	自然に親しむ機会をできるだけ増やしている市民の割合	環境課	アンケート調査項目「自然観察会への参加など、自然に親しむ機会をできるだけ増やしている」において、「実施している」「ある程度実施している」と回答した市民の割合	13.3%	18.0%以上	環境に関する啓発が進み、2年に1%増加することを目標とする。

### (4)資源循環

指標	担当課	把握方法	基準値	目標値	備考	
			令和元年度	令和12年度		
市	集団回収事業による収集量	環境課	市が実施する事業「集団回収事業」による収集量	376t	400t	近年最も多かった384t(H29実績)以上を目標とする。
	3Rに関する情報の発信回数	環境課	広報誌やLINEによる3Rに関する情報の発信回数(項目数)	0回	2回	
市民・事業者	1人1日あたりのごみ排出量	環境課	リサイクルごみ回収量を除く市民1人1日あたりのごみ排出量	657g/日・人 (H30)	600g/日・人以下	現行計画から継続。 実績:625g(H26)→657g(H30) ごみの排出量は増加傾向にあり、近年最も少なかった612g(H27実績)以下、端数調整を行い600g以下にすることを目標とする。

(5)地球環境

指標	担当課	把握方法	基準値	目標値	備考
			令和元年度	令和12年度	
市 薪ストーブ導入の補助件数(累計)	環境課	市が実施する事業「薪ストーブ及び木質ペレット購入助成事業」の補助件数	91件 (H30)	210件以上	現行計画から継続。 実績:44件(H27)→91件(H30) 補助件数は増加傾向にあり、今後も活用する市民が増えることが見込まれるため、1年に約10件増加することを目標とする。
事務・事業における温室効果ガス排出量	環境課	改定版 第2次南丹市地球温暖化対策実行計画(事務・事業編)に基づく算定	10,474.2 t-CO <sub>2</sub> (H25)	6,284.5 t-CO <sub>2</sub>	国が掲げる目標(R12年度に基準年度のH25年度比で民生業務部門の温室効果ガスを40%削減)と整合。
市民・事業者 環境に配慮した住宅の導入状況	環境課	アンケート調査項目「環境に配慮した住宅への対応状況」において、「すでに導入している」と回答した市民の割合	28.1%	33.0%以上	環境に関する啓発が進み、2年に1%増加することを目標とする。
市民・事業者 クールビズやウォームビズを推奨している事業者の割合	環境課	アンケート調査項目「クールビズやウォームビズを推奨している」において、「実施している」「ある程度実施している」と回答した事業者の割合	44.0%	55.0%以上	環境に関する啓発が進み、1年に1%増加することを目標とする。